

JVC KW シニアクラブ

令和3年度
日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会
第19回総会議案書

新型コロナウイルスの蔓延を受け集会形式の
総会は開催せずに書類審議といたします

内容をご確認いただき、返信用ハガキに
議案ごとに会員各位の判断をご記入の上
10月31日（土）までに投函願います



アマビエ：図は厚生労働省HPから引用

議案書目次

【報告】

報告 1	令和 2 年度	活動報告	・・・・ P 1 ~ 2
報告 2	令和 2 年度	会計収支決算報告	・・・・ P 2 ~ 3
報告 3	令和 2 年度	会計監査報告	・・・・ P 3

【議案】

第 1 号議案	令和 3 年度	活動方針に関する件	・・・・ P 4 ~ 5
第 2 号議案	令和 3 年度	予算案に関する件	・・・・ P 6
第 3 号議案	令和 3 ・ 4 年度	役員選任の件	・・・・ P 7

【その他】	返信はがきの記入について	・・・・ P 8
-------	--------------	----------

第19回(令和3年度)JVCKW シニアクラブ総会

ご氏名

総会議案書をご確認いただきいずれかに○を付けてください

A	1	2	3
B	1	2	3
C	1	2	3
D	1	2	3
E	1	2	
F	1	2	
G			

左のような返信ハガキが同封されていることをご確認ください。
この記入方法はP8に記載しております。

報告及び議案それぞれに皆様の審議を諮り、その結果をこの
ハガキにて事務局本部にご返送ください。

会員の皆様との貴重なコミュニケーションの場です。
本議案書がお手元に届いた時点で、すぐにお目通しいただき
ご記入をよろしくお願ひいたします。
一度しまってしまうと忘れられてしまうのではないかと心配して
おります。(事務局長の杞憂かな)

皆様からの回答を集約し、別途その結果をご報告いたします。

10月31日(土)までにご投函ください

報告1 令和2年度活動報告

1. 概況

令和元年10月9日(水)、横浜ハマボールイス7階「BENOA横浜」に於いて開催されたJVCシニアクラブ第17回定期総会には53名の参加を得て、報告事項・協議事項の全てが可決・承認されました。

この会において、当シニアクラブの発足以来長く会長を務めてきた菅沼会長から都合で役員を退任する旨の申し出がありました。

車いすでの登壇ではありましたが、従来と変わらぬ力強い声で近況を話し、会長として最後の挨拶をおこないました。



参加者全員の大きな拍手に送られ降壇し、引き続き高石新会長、宮本新副会長の選任が行われて令和2年度の活動を開始しました。

この一年間の活動を振り返ってみると、コロナが全世界に蔓延することなど全く想像もできない前半は、例年と同じように順調に活動を展開していました。

11月には、ゴルフ大会を開催しました。これはシニアクラブが核となって、各地域・同好会でそれぞれ開催しているゴルフ愛好家の皆様が一堂に会して腕を競う場を設定したものです。遠隔地からの参加者が少なかったのは、歳とともに遠出を控えるようになっているからでしょうか。それでも女性参加者を含めて36名で実施しました。

12月には、翌年のオリンピック開催に備えて着々と準備が進められていた国立競技場周辺の散策を行い、開館して間もない「オリンピックミュージアム」に立ち寄り、金銀銅のメダルのサンプルや聖火ランナーが持つトーチなども見てきました。

1月に入って中国武漢で新型コロナウイルス蔓延により街全体が封鎖されたニュースが聞こえてきましたが、その段階ではまだ日本への影響など考えてもいませんでした。

しかし、2月の国立演芸場「鹿芝居観劇と新春交流会」には40名を超える参加申し込みがありましたが、直前になってコロナを心配してのキャンセルが相次ぎました。

コロナがすぐそばに迫っていることを強く感じました。

以降、例年と同じように実施を考えていた歴史散策・街歩きや円覚寺での座禅・写経の会、カラオケ会など全て中止せざるを得ない状況になってしまいました。

5月に入り、少しは収まるかに見えたコロナは再び全国に広がりをみせて、シニアクラブ幹事会も直接顔を会わせての開催ができない中、役員全員でメールのやり取りをしながら意見交換をしてきました。その結論は8月に皆様にご案内した通りです。

年度後半は会員の皆様との交流の場・意思疎通を持つことができなかつたのは残念です。昨年の総会で「行事参加券」をゲットした方は引き続き保管しておいてください。

2. 活動内容報告

例年ですと、ここに本部・支部の活動を具体的に記載していますが、割愛します。

8月にお届けしたシニアクラブ便りの活動報告(写真版)をご参照ください。

上部団体の各地方JAMシニアクラブにおいても、地域においてコロナに対する若干の温度差があるものの、春以降予定していた行事はほぼ中止となっています。

3. 総 括

☆ 右図は地域別会員数(2020.9.1 現在)と、この一年の行事参加状況を示しています。

会員数は昨年、2名の新規加入者がありましたが、トータルでは8名減となっています。

平均年齢は77歳となって、組織の高齢化は着実に進んでいます。雇用延長や再就職、アルバイトなどシニア世代の社会での活躍の場が増えている中、シニアクラブへ加入する人が現れない、というのが現状です。

加入促進のための新たな施策が求められます。

支部	会員数	参加者	延数
神奈川	99	36	61
東京	29	11	23
千葉	30	8	19
茨城	36	18	38
群馬・他	10	4	13
合計	204	77	154

☆ コロナ禍により、年度後半は具体的な行事を企画できず、お互いに顔を会わせる機械を持つことができなくなってしまいました。これを少しでもカバーしようとして、シニアクラブ便り5月号や、8月号でカラー版でビジュアルに活動状況を紹介して、会員とのコミュニケーションができるだけ保つように努めてきました。

メールのある会員には、毎月の節目にはメールでメッセージを送り、シニアクラブHPにも会員からのお便り欄に「コロナ禍で私は…」の欄を設けて投稿をお願いしてきました。会員間の交流を図るにはもっと多くの方に投稿をお寄せいただきたいところでした。

8月からはHPへのアクセス頻度をUPさせるべく「季節の歳時記」欄を設けました。

適時、ショートメッセージを載せているので是非ご覧ください。

報告の最後に、例年の総会ではこの1年間にお亡くなりになられた会員のご冥福を祈り出席者全員で黙とうをささげておりますが、今回は次の方が対象となられています。

(茨城支部) 対比地 省造様 享年84歳 御命日:令和2年3月15日 【合掌】

☆ 令和2年度役員（以下の通りでした）

《会長》高石 勝巳 《副会長》宮本 信 《事務局長》田代 周

《幹事》井上 純一・大高 光蔵・榎本 享二・杉崎 隆司・宮田 宏美

《会計監査》飯田 耕治郎・白岩 仙一

=====

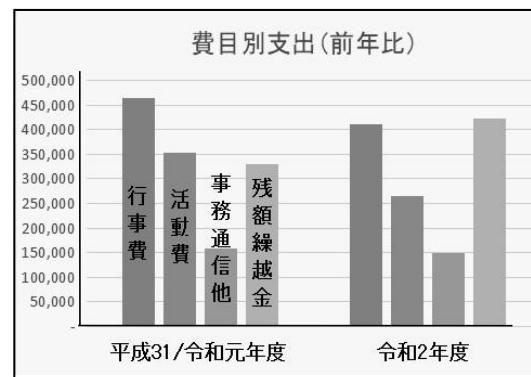
報告2 令和2年度会計收支決算報告

右ページの会計収支決算書をご確認ください。ここに若干のコメントを記載します。

☆ 収入の部では、会員の皆様全員から会費をお預かりしました。その内24名の方からは直接現金でいただきました。郵便振込手数料が値上げされており、振込料金支出がその分抑制されました。

尚、労組本部からの活動助成費が収入全体の40%を占めています。

☆ 支出を費目別に見ると右表のとおりです。
前年度に比べて行事費・活動費が下がった分、残額が多くなり翌年への繰越金が増えています。



令和2年度会計収支決算書

令和元年8月1日～令和2年7月31日

科目	計画	実績	予算対比	備考
収入	会費(振込)	370,000	358,000	96.8% 振り込み会員
	会費(現金)	40,000	48,000	120.0% 直接支払い
	活動助成費	500,000	500,000	100.0% 労組本部から
	その他		12,540	JAM神奈川から(立替分として)
	収入小計	910,000	918,540	100.9%
	前年度繰越金	329,055	329,055	100.0%
収入の部合計		1,239,055	1,247,595	100.7%
行事費	総会	200,000	199,170	99.6% 交通費、懇親会補助
	幹事会	200,000	106,760	53.4% 交通費等
	上部団体加盟費	103,000	106,150	103.1% 地方JAMシニアクラブ会費
	その他		—	
活動費	対外行事参加費	90,000	57,730	64.1% 地方JAMシニアクラブ総会参加費、懇談会費、交通費
	本部活動費	120,000	55,730	46.4% 役員行動費(3役会、本部作業時の交通費等)
	本部・支部行事補助	200,000	109,171	54.6% 浅草ジャズ、アウトドア、下山静香、茨城ハイキング、外苑散策、鹿芝居
	情宣費	25,000	24,724	98.9% 活動報告カラー版作成費・HP維持管理費
	その他	21,000	17,600	83.8% シニアクラブ新小旗作成
	活動予備費	10,000	—	
事務費	事務用品	5,000	4,904	98.2% 総会横断幕印刷+紙筒、プリンターインク
	会費振込手数料	34,000	33,169	97.6% @150or@200 ただし2019.10.1以降 @152or@203
	その他		—	
通信費	郵送料	125,000	110,578	88.5% メール便サービス利用料、宅配便、葉書代
	その他		—	
			—	
支出小計		1,133,000	825,691	72.9%
予備費(残額)		106,055	421,904	収入の部合計－支出小計 (残額は翌年度へ繰越)
支出の部合計		1,239,055	1,247,595	66.2% 今年度収入実績に対する支出実績

=====

報告3 令和2年度会計監査報告

会計監査報告書

私たちは、日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会(JVCKWシニアクラブ)規約第12条に基づき、令和2年7月31日現在の財務諸表を厳正に審査しました。

その結果、会計処理がすべて適正に表示されていることを確認し、これを認めます。

令和2年9月29日

日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会(JVCKWシニアクラブ)

会計監査

飯田 耕治郎

印

会計監査

白岩 仙一

印

第1号議案 令和3年度 活動方針に関する件

令和3年度活動方針

【1】緊張増す世界

今年11月の米国大統領選に向けてか、トランプ大統領の「アメリカファースト」は米中の貿易戦争を一段とエスカレートさせて、物の移動に対する制約よりも特許・著作権やセキュリティー・安全保障に絡む問題で対立を深めています。

1991年にソ連崩壊で東西の冷戦は終結しましたが、近年、経済的にも軍事的にも台頭する中国を念頭に再び新たな東西の冷戦に突入した感があります。

昨年12月に発生したといわれる新型コロナウイルスは瞬く間に世界中に拡散し、未だに収まりを見る事ができません。各国におけるワクチン開発競争も繰り広げられ、早くも一部の国では治験が行われてその効果が発表されています。競争に走りその効果がどこまで期待できるのか、そしてどんな副作用をもたらすのか未知数のまま突っ走るの危険です。



このコロナ発祥の地、中国は世界の工場といわれ経済的に大きく発展してきました。しかし、その国の指導者のあまりにも強圧的な社会運営に自由主義陣営の多くの国が対立を深めています。コロナ発生時の情報隠匿にも批判を高め、日本企業においても中国に設置した工場を日本に戻したり他国に移動してリスク分散を図る動きが顕著になってきています。

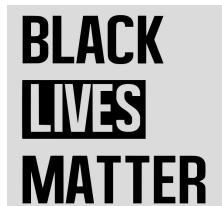
経済のグローバル化による企業の効率第一・コスト第一主義は、リスク分散・安全第一にシフトを始めたようです。産業を自国に取り戻すことによって国内産業の空洞化や失業率の改善にも結び付くことになります。結果的にコストアップで国民は応分の対価を負担することになったとしても、自国経済安定の面では利することになるでしょう。

社会のグローバル化は格差を顕在させたと言われています。そしてその格差が摩擦を生み、紛争や犯罪の種となっています。

米国で黒人に対する警察官の暴行事件が相次ぎ、BLM運動(Black lives Matter)で多くの人たちが抗議活動を進めています。

宗教や人種問題に絡む争いはエスカレートしがちです。

2020全米オープンテニスで優勝した大坂なおみ選手がとったマスク抗議は、静かにして強いインパクトを与える新たな動きとなっていくかもしれません。



【2】Withコロナの時代に

国内では9月に航空機内でマスク着用のお願いを聞き入れず、挙句の果てに一悶着を起こしたニュースがありました。これこそ、この欄で何回か述べてきた「俺だけファースト」の結果です。コロナ禍で人を思いやる心の余裕が奪われ、一段と自我の意識を高めてきてしまったようです。

日本人は秩序正しい国民性を持っていると思っています。国や自治体のコロナへの対応では、強制ではなく要請ベースで進められてきました。諸外国が強制で街全体の

封鎖措置をとったのに対して日本では外出自粛で対応しました。それでも一定の予防効果が示されました。どんな場においてもこの心を持つ必要があるのでしょう。

学校や企業ではオンラインでの授業・会議が続けられました。新入生はクラスメイトの顔も覚えられない状況で、人と人とのつながりを充分に得ることはできませんでした。

NHK大河ドラマや朝ドラは放送中断となり、真夏の夜空を彩る花火は軒並み中止され、多くの人の楽しみも奪ってしまうことになりました。

今年、2020年はオリンピックイヤーでした。外国から多くの選手が参加し、多くの観客・観光客が日本にやってくるはずでした。しかし、コロナですべてが打ち砕かれてしまったようです。スポーツ、コンサートなどのイベントは無観客あるいは収容人員を大幅に制限して開催されてきました。それぞれの場で制限緩和の動きがみられますが、秋冬に向かってコロナの再燃も心配され、慎重に対応していく必要があるでしょう。

9/14 自民党総裁選で安倍政権で長く官房長官を務めた菅義偉新総裁が誕生しました。「自助・共助・公助、そして絆の国づくり」を目指すとのことですですが、自助にウエイトが高まると格差がどんどんと拡大していくことになります。コロナ禍で経済的に疲弊してしまった人たちが多い中、バランスの取れた政策推進を願うところです。

【3】共助を目指して、私たちのシニアクラブは…

【具体的な活動について】 コロナの動向を注意深く見ながら、活動を進めたいと思います。高齢者は感染すると重篤化する可能性が高く、現段階では直接顔を合わせての企画をご提示することができません。しかし、早い段階での活動再開ができるのを期待して、令和3年度予算案の活動費は前年と変わらない額を計上しています。昨年、総会後の懇親会で「行事参加券」をゲットされた方は使用期限を延長するので大切に保管ください。



【相互のコミュニケーション向上に向けて】 コロナ禍でお互いに顔を合わせてのコミュニケーションが取り難い環境の下、シニアクラブ本部と会員および会員間の情報交換や情報伝達を今迄以上に緊密に保つ必要を感じております。

その手段として、HPをより多く利用することを目指したいと思います。会員の約半数はPCを持ち、メールでの情報連絡が可能となっていますが、最近は多くの方がスマートをお持ちのことと思い、それも活用していただければと考えます。

最後のページにあるアンケートに是非ご回答をお願いいたします。

【会員増、組織強化に向けて】 JVC ケンウッド労組は今まで、上部団体を一本化することができませんでしたが、今年、それをJAMに一本化することが決まりました。

JAM指導の下に発足した私たちのシニアクラブは、今後一段と労組本部との意思疎通を図って新規会員加入増に努力いたします。

私たちのシニアクラブは来年第20回総会となる節目を迎えます。ここまで会員の皆様のご支援・ご理解をいただき活動を展開してくることができました。この節目を祝う企画をなにか考えたいと思います。皆様からのご提案も期待しております。

以上

第2号議案 令和3年度 予算に関する件

令和3年度予算(案)

(R2. 8. 1~3. 7. 31)

科目	令和2年度 実績	令和3年度 計画	備 考
収入	会費(振込)	358,000	-
	会費(現金)	48,000	-
	活動助成費	500,000	労組本部から
	その他	12,540	-
	収入小計	918,540	500,000
	前年度繰越金	329,055	421,904
収入の部合計		1,247,595	921,904
行事費	総会	199,170	- 交通費、懇親会補助
	幹事会	106,760	150,000 交通費等
	上部団体加盟費	106,150	地方JAMシニアクラブ会費 @500x会員数204名
	その他	-	-
活動費	対外行事参加費	57,730	100,000 地方JAMシニアクラブ総会参加費、懇談会費、交通費
	本部活動費	55,730	100,000 本部役員行動費(交通費等)
	本部・支部行事補助	109,171	200,000 行事補助費(R2年度から本部・支部行事を一括)
	情宣費	24,724	25,000 活動報告カラー版作成費・HP維持管理費
	その他	17,600	-
	活動予備費	-	-
事務費	事務用品	4,904	10,000
	会費振込手数料	33,169	- 郵便振り込み手数料(203円 or 152円)
	その他		
通信費	郵送料	110,578	125,000 メール便サービス利用料、宅配便、葉書代
	その他		
支出小計		825,691	818,000
予備費(残額)		421,904	103,904 収入の部合計－支出小計 (残額は翌年度へ繰越)
支出の部合計		1,247,595	921,904

【予算案作成のポイント】

1. 収入の部は前年度繰越金と労組本部からの活動助成費で構成 (令和3年度の特例措置)
2. 支出の部 行事費で総会費出費無し、幹事会費は前年計画比マイナス5万円(遠隔地からの幹事交代による)
3. 活動費は昨年予算と変更せず。コロナ禍の終息により活動が再開することを願っての予算措置
4. 活動予備費は、一度も活用する機会がなく項目を今後削除する。必要な場合、予備費(残額)から適用する
5. 事務用品費は、従来から労組に負うところが大きかったが、事務作業の自立化のもとに予算枠拡大する
6. 会費振込手数料は今年度発生せず
7. 郵送料は前年度計画並みであるが、ネット活用で情報伝達の効率化を図る

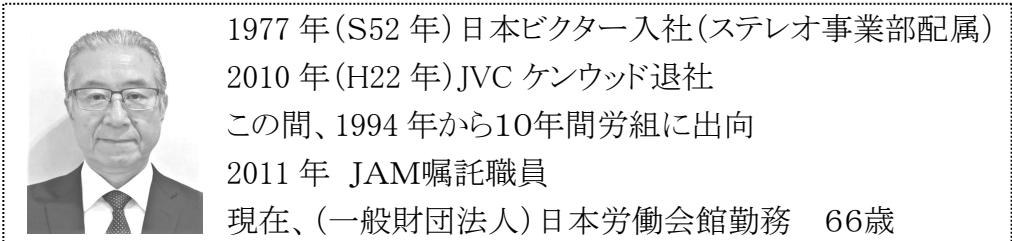
第3号議案 令和3・4年度役員選任の件

《会長》 高石 勝巳 《副会長》 宮本 信 《事務局長》 田代 周

《幹事》 井上 純一、榎本 亨二、大高 光蔵、宮田 宏美

《会計監査》 飯田 耕治郎、白岩 仙一 以上9名は継続

《幹事交代》 杉崎 隆司(退任) ⇒ 菊池 正範 (新任／写真)



1977年(S52年)日本ビクター入社(ステレオ事業部配属)

2010年(H22年)JVCケンウッド退社

この間、1994年から10年間労組に出向

2011年 JAM嘱託職員

現在、(一般財団法人)日本労働会館勤務 66歳

議案は以上です。次のページを参照して返信ハガキの記入をお願いします。

【その他】返信ハガキの記入について

返信ハガキをお手元に置いて、以下の質問にお答えの上、ご投函ください。

回答は次の内いずれかの数字を○で囲ってください。

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 1. 賛成 | 2. 反対 | 3. どちらとも判断できない |
|-------|-------|----------------|

記入欄 A 本議案書報告事項（令和2年度活動報告・会計収支・会計監査報告）に対して

記入欄 B 本議案書第1号及び2号議案（令和3年度活動方針および予算案）に対して

記入欄 C 本議案書第3号議案（令和3・4年度役員改選の件）に対して

今後のシニアクラブHP活用やスムースな事務連絡改善検討のために

以下のアンケートにご協力をお願いします。数字を○で囲ってください。

記入欄 D スマホを持っていてHPを見る事ができる 【 1. はい 2. いいえ 】

記入欄 E HPを 【 1. 時々(たまに)見ている 2. 連絡があれば見る 3. 全く見ない 】

記入欄 F シニアクラブ便りは 【 1. HPで見るから送付不要 2. 従来通り郵送 】

記入欄 G 議案内容を含め自由にご意見等を記載してください。

記入スペースが足りない場合は、下段に記載のアドレスにメール、

または事務局長あてに電話等でご連絡ください。 ⇒ 090-6147-0946 田代 周

【事務局から】メールは即時情報連絡が可能なため、メールアドレスをお持ちの方には

シニアクラブからの一般連絡事項等はできるだけ、メールで送りたいと思っています。

現在、シニアクラブ会員名簿に記載されたメールアドレスは、ほとんどの方はPCのアドレスとなっています。名簿にアドレスが記載されていない方で、スマホのアドレスをご連絡いただければ名簿に登録させていただき、情報を送ることといたします。

お持ちのスマホから次のアドレス jvckw-senior@jvc-senior.com に、または右のQRコードを読み取ってお名前を記入して空メールをお送りください。



皆様のお手元に届ける必要のあるものは郵送しますのでご承知ください。